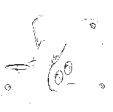
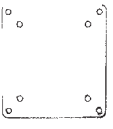


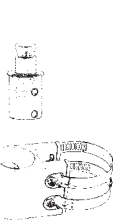
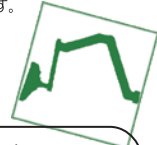


この度は弊社製品をご採用賜り、誠にありがとうございます。ご設置、ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。「安全上のご注意」は必ずお読みになり、正しくお使いください。

梱包する部品の一覧	添付品
 <p>ピボットヘッド これで液晶ディスプレイをアームと結合します。液晶ディスプレイをスタンドやアームに取り付けるためのネジ穴の規格・VESA75に対応しています。</p>	<p>VESA用ネジ M4X10 × 4 (※1) 6角レンチ (4mm) × 2 6角レンチ (3mm) × 1</p>
 <p>VESA100変換用プレート 液晶ディスプレイをスタンドやアームに取り付けるためのネジ穴の規格・VESA100に対応するために、VESA75をVESA100に変換するためのプレートです。VESA75の液晶ディスプレイには不要です。</p>	<p>VESA用皿ネジ M4X10 × 4 M4ネジ用ナット × 4 (※2)</p>
 <p>水平ショートアーム (シングアーム) アルミダイキャスト製で、ピンの中心から中心まで長さが165mmあります。アーム自身の長さは203mmです。</p>	<p>プラスチック・ワッシャ × 1</p>
 <p>メイン(汎用)アーム 主としてアルミダイキャスト製で、上下2関節で、長さは417mmあります。2Kg~5Kgの範囲の重さの液晶ディスプレイの取り付け用として設計されています。</p>	<p>プラスチック・ワッシャ × 2</p>
 <p>ボールマウントとステンレス製自在バンド アルミダイキャスト製ボールマウントとステンレス製自在バンドです。自在バンドは縦に斜めの溝があり、この溝をメスネジの谷部としてボルト・ナットが締まっていく構造です。自在バンドは40~60mm用を標準装備しています。違うサイズの自在バンドがご希望の折は、ご連絡ください。自在バンドでボールに傷つくことがあります。傷を嫌われる場合はゴムシートを用意し、自在バンドの下にゴムシートを巻きつけるなどしてください。</p>	<p>金属スプーサー(円筒状) × 1 (外径33mm/内径20mm) ピン(直径20mm) × 1 ステンレス製自在バンド × 2</p>

※1: 別にいたすら防止用(締めることはできるが緩めることはできない)ネジ(SROS-M4; 税込@21)をご用意できます。
※2: 別にいたすら防止用(緩めようとするすると滑る)M4ネジ用円筒ナット(HSAR-406; 税込@48)をご用意できます。
※3: 上記いたすら防止用パーツは、お送りする際商品代金のほかに送料実費をご請求申し上げます。
※4: 上記いたすら防止用パーツは、e-メール(info@livecreator.co.jp)にてお問い合わせください。

どうぞ、新しいLCDライフをお楽しみください。これからもライブクリエイターは活躍する創造者集団として、いろいろご提案申し上げます。よろしくご指導ご鞭撻ください。お願い申し上げます。



液晶ディスプレイ用アーム 保証書 (商品名: ライブクリエイターARM-10APFS)

- 保証期間内に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使い方での故障した場合は、本書記載内容に基づき無料修理いたします。
- 保証期間内であっても、つぎの場合は有償の修理となります。
 - (1) この保証書の提示がない場合。
 - (2) 保証書に、ご購入の年月日、お名前(貴社名)、取扱い店名がない場合、および保証書の文言が書き換えられた場合。
 - (3) 改造、または不当な修理による故障および損傷。
 - (4) ご購入後の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (5) 火災や天災などによる故障および損傷。
 - (6) 消耗品の交換。

※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This Warranty is valid only in JAPAN.

ご購入年月日	保証期間 ご購入の日より 1年間
お名前	<h1>本</h1>
ご住所	
取扱い店名(住所電話)	

株式会社ライブクリエイター
〒110-0016 東京都台東区台東1-1-14 ANTEX24

品質表示	一般名称	液晶ディスプレイ用ポールマウント固定式汎用アーム
	商品名(型番)	ライブクリエイターARM-10APFS
	固定方法	ポールマウントで十分な強度のある既設のユニットポールなどに固定
	特長	ディスプレイを空間の任意位置に移動、静止できます(米国特許取得)。ポールマウントで固定しますので、一体化し、半永久的に安定します。
	耐荷重	min 1Kg ~ max 4Kg
	主材質	アルミダイキャスト、一部鋼材およびプラスチック
	モニター取付部	液晶ディスプレイの規格・VESA 75mm / 100mmに対応
	ケーブル収納方法	アーム内に収納

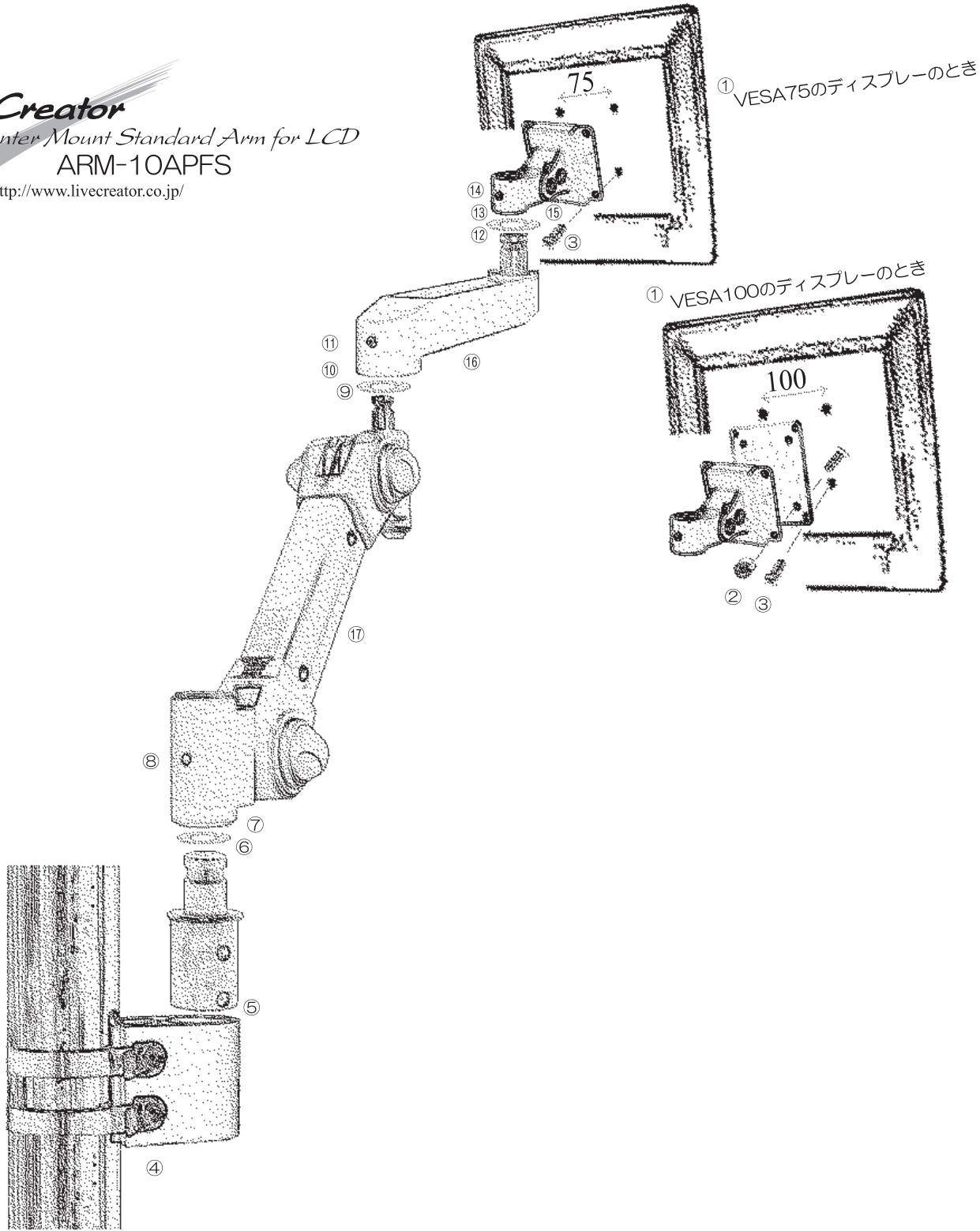
安全上のご注意	
	警告 この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この製品内部の分解および改造は絶対にしないでください。この製品の耐荷重に変化をきたし、事故や故障の原因となります。
	この製品内部の点検、調整、修理は、危険ですから絶対にしないでください。この製品の耐荷重に変化をきたし、事故や故障の原因となります。
	この製品を不安定な場所や脆弱な箇所に絶対に取り付けしないでください。事故や故障の原因となります。
	この製品を振動や衝撃の多い場所に置かないでください。事故や故障の原因となります。
	この製品に液晶ディスプレイ以外のものをぶら下げたりしないでください。事故や故障の原因となります。
	この製品に耐荷重以上の液晶ディスプレイは絶対に取り付けしないでください。重大な事故や故障の原因となります。
	メインアームを、上下逆さにして取り付けしないでください。重大な事故や故障の原因となります。
	ネジを締めたら必ず締め具合をチェックしてください。チェックを忘れると、重大な事故や故障の原因となります。
	プラスチックノブでアームの関節の硬さを調節するとき、硬めに調節してください。緩めに調節すると、事故や故障の原因となります。
	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害が想定される内容を示しています。
	この製品に水などの液体を入れたり、この製品を濡らしたりしないでください。さびの原因となり、事故や故障を招くもととなります。

Live Creator


Pole-mounting Mount Standard Arm for LCD

ARM-10APFS

URL <http://www.livecreator.co.jp/>



設置の手順

- 1) ディスプレーの裏面を見、ネジ穴とネジ穴の間隔（VESA規格）が75mmか100mmか、チェックします。
- 2) VESA100規格の場合、ベサ変換プレート（正方形の板状）をピボットヘッドと呼ぶ金具に添付の皿ネジとナットを使い、一体化させます。プラスのドライバなどの工具は事前にご用意ください。添付のナットは中に緩みどめのナイロンが入っているため、締める際、ナイロンの山を越える瞬間、より強い力が必要となります。

VESA75規格の場合、ベサ変換プレートは使用しません。
- 3) VESA100規格ではベサ変換プレートを、VESA75規格ではピボットヘッドを、ディスプレイ裏面のネジ穴に添付のネジで固定します。
- 4) ポールにステンレス製自在バンド部を巻きつけ、ボールマウンタの2つのトンネル状の穴の中にあるボルト部、そのボール側の隙間に自在バンドの先端を挿入します。
ボルトをプラスのドライバで締めていくと、次第に自在バンドのポールを締める強度が上がってきます。
まずは、ボールマウンタが落ちない程度に軽く締めます。
- 5) ピンの入った円柱状の金属スペーサを、ボールマウンタの穴部分にはめます。
ボールマウンタの4本のネジを4mmの六角レンチで、今度はしっかり締めます。
- 6) 金属スペーサのピンに、プラスチック・ワッシャをはめます。
- 7) メインアームを金属スペーサのピンに、プラスチック・ワッシャの上からはめます。
メインアームには力学的に上下関係が決まっています。出荷時にピンがついている方が上部です。
- 8) 穴にはまっているネジを3mmの六角レンチで調整、金属スペーサのピンの溝に固定します。
- 9) メインアームのピンに、プラスチック・ワッシャをはめます。
- 10) 水平ショートアームをメインアームのピンに、プラスチック・ワッシャの上からはめます。
- 11) 穴にはまっているネジを3mmの六角レンチで調整、メインアームのピンの溝に固定します。
- 12) 水平ショートアームのピンに、プラスチック・ワッシャをはめます。
- 13) ディスプレーをつけたピボットヘッドを水平ショートアームのピンに、プラスチック・ワッシャの上からはめます。
- 14) 穴にはまっているネジを3mmの六角レンチで調整、水平ショートアームのピンの溝に固定します。
- 15) 穴にはまっているネジを4mmの六角レンチで調整、液晶ディスプレイの傾斜を調節します。
- 16) 水平ショートアームの裏の金属カバーをとめているネジ2本をはずし、ケーブルを格納、その後再びカバーをします。
使用する工具、プラスドライバ（2番）はご用意ください。
- 17) プラスチックのカバーをはずしケーブルを格納、その後再びカバーをします。（以上）